

スターウィークと伝統的な七夕



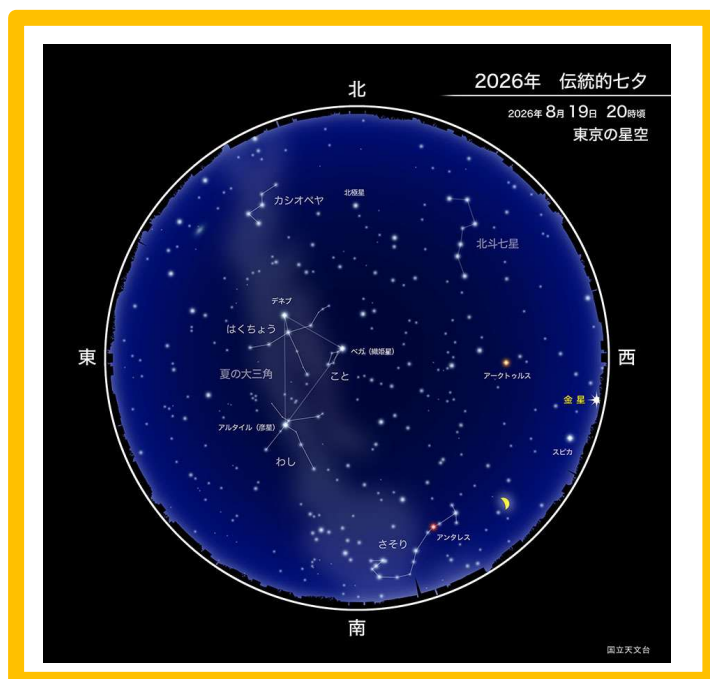
天空が広がるうぶやまの高原は、暑い夏の季節を迎えましたが、高原の涼しい風が吹いています。激しかった梅雨も明け、産山の夏の夜空には素晴らしい星空が輝いています。

指導員コラム(天体情報・見どころ)

8月の星空情報の第1弾は8月1日～7日のスターウィークです。このスターウィークは国立天文台や日本公開天文台協会(JAPOS)が多くの人に星空に親しんでもらおうと1995年から続けているキャンペーンです。

8月上旬は全国的に梅雨が明け、天候が安定する頃で、星空を眺めるのに適した時期です。今年のキャッチコピーは「星空見る人、このゆびとまれ!」です。全国各地で天体観察会等のイベントが開催されます。

また、伝統的な七夕として知られている旧暦の七夕は今年は8月19日です。現在の暦の7月7日は、多くの場合、梅雨のさなかにあたっていますが、伝統的な七夕の頃は夏空が広がることが多く、星を楽しむのに良い季節です。太陽太陰暦では、日付が月の満ち欠けとほぼ対応していますので、毎年、伝統的七夕(太陽太陰暦の7月7日)は、上弦かまたはその少し前になります。今年の場合は、上弦の2日前で、半月より少し欠けた月が見えます。夏の大三角、天の川が20時頃、頭上に位置します。素晴らしい星空が楽しめるうぶやま天文台に星見にお出かけください。



クレジット 2026
国立天文台(NAO)